

第144回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 平成30年9月20日(木) 午後3時～午後4時30分
場 所 603会議室
出席者 5名
峯岸正雄、友國洋、渡辺康三、新井昭夫、松田廣行
傍聴者 なし
事務局 環境課 課長 亀井、課長補佐 工藤

1 開会

峯岸会長

2 議題

(1) 第2次和光市環境基本計画実行計画改訂版に係る平成29年度実施状況の点検・評価について

○ 事務局より主に質問や意見のあった施策について説明

「望ましい姿1 豊かな水と緑を守り育み伝えるまち」

- ・施策1の緑被率調査の方法について意見をいただいているが、本調査は、都市計画基礎調査を実施する際の土地利用現況調査の一環として実施しており、グーグルマップを使用した調査については考えていないとの回答を得ている。なお、次回の調査は平成33年度を予定している。
- ・施策2、施策4、施策5、施策9については、7月の会議において、担当所管である都市整備課より説明があったとおり、現在検討を進めているところであり、環境づくり市民会議の委員をはじめ、市民の知恵を拝借しながら作り上げていくとの回答を得ている。
- ・施策8の生物多様性への寄与の説明としては、湧水・斜面林が減少していく中、斜面地保全のため、上谷津ふれあいの森の公有地化を進めており、平成30年度に用地の取得予定である。

○ 委員からの意見

- ・東京メトロの和光市の宣伝紹介では、ふるさと民家園などが紹介され、それ以降たくさんの方が民家園を訪れた。
- ・午王山遺跡が国の文化財に指定されるかとあるが、現在、午王山遺跡には新しい家が建っており、今後も増える予定である。このことについては先日の市議会でも一般質問があった。わたしも教育委員会などで資料をもらったが、将来的には今建っている家を無くす方向で検討しているようであった。国の文化財指定の話は来年の今頃に方向性が決まるらしい。ただ、午王山遺跡が

指定されても、交通の便が不安である。

- ・緑を残すことは、非常に難しい。開発して便利にすることと緑を十分に残すことはある意味矛盾してしまう。緑を残すような国の制度はいろいろあるが、緑を取得できる機会があつてから動いても時間がかかってしまう。
 - ・和光市は東京に近すぎて、東京に土地が買えない人が土地を求めて流入してくる。だから、特に私有地の緑を残すことは本当に難しく、苦勞する思う。
 - ・先進事例など色々研究されているが、議会や市民と共有するためにはやはり条例化して一定の条件で進めていくことが重要。朝霞や他の多くの市町村には制度がある。和光は以前あつたのに無くなっている。庁内の調整会議等でしっかり連携を図り制度を作ってもらいたい。
- （事務局）基金を条例化するのはそれほど困難ではないが、その後どうやって基金を集めていくかが重要である。
- 緑地を取得できる機会が発生したときに、受皿があれば、市民もそれを埋めなければと思えると思う。
- ・調査したことを広報わこうやHP等で公表することも必要だと思うが、緑地は都市整備課に移管されたが、その辺りはどうなのか？
- （事務局）都市整備課を交えての意見交換の際に市民の皆様の色々な意見を聞きながら検討していきたいという話があつたが再度都市整備課に話はする。何らかの対応はしなくてはならないと思っている。

「望ましい姿2 住みよい環境を未来につなぐまち」

- 事務局より主に質問や意見のあつた施策について説明
 - ・施策29の太陽光発電及び省エネルギー機器設置に対する助成については、太陽光326件、省エネルギー88件の補助金を交付し、一定の効果が得られたと判断し、事業を休止している。しかし、その重要性については認識していることから、今後は環境教育や意識啓発への取組に力を入れ、普及に努めていきたいと考えている。また、国・県等の動向を注視していくとともに、技術革新に伴う新たな省エネ機器の開発など、社会情勢の変化を踏まえ、検討していく。
 - ・施策33の落ち葉の堆肥化について、ふれあいの森での市民活動等で行う落ち葉の堆肥化は健康上問題ないかとの質問に対しては、問題ないとの回答であつた。
 - ・施策48、49の浄化槽管理指導と下水道整備については、現在行っている取組を継続して実施し、目標の達成に向け取り組みたいと考えている。
 - ・地球温暖化対策の推進では、現在、現行計画を超えて着手または実施した施策はないが、今後実施される第3次環境基本計画の策定に合わせ対応していきたい。
- 委員からの意見

- ・朝霞市とのごみ共同処理施設について教えてほしい。
- （事務局）朝霞市とのごみ共同処理施設の件は先日調印式を行った。朝霞市と和光市でごみ焼却処理施設を共同で建設し、ごみ処理を行うといった内容だが、今後事業の細かい話になっていくかと思う。10年くらいの計画といわれている。
- これから10年というのとつとくに償却期限が過ぎているし、立地も問題である。しっかり計画は作ってほしい。
- ごみの減量は必要。ゴミを燃やした後の灰をうまく活用したりできればいいが。プラスチックにしる資源の再生には結構お金がかかる。和光市はゴミ処理行政でいくらかかっているかなど、数値を示して啓発したらいい。
- ・LEDの街路灯補助があると思うが、市でどのようなものやっていて、どのくらい電気代が下がったのか知りたい。
- （事務局）確認しておく。
- ・太陽光発電パネルを公共施設の屋上に屋根貸しして設置しているが？
- （事務局）総合体育館とアクシスの2ヶ所で屋根貸ししている。学校等についでるものもあるが、それはその施設内で消費している。
- 実行計画の中に、実施した事業としてそういったことも記載したらいいと思う。LEDについても和光市は先進的だった。

「望ましい姿3 環境を育てる心がつながるまち」

- 事務局より主に質問や意見のあった施策について説明
 - ・施策62の環境に関する職員研修の実施については、現在計画等の紹介は行っているが、ふれあいの森などの実地研修についても職員課と調整していきたいと考えている。
 - ・施策64では、美化サポーター活動で回収したごみの受け入れは大変ありがたいとお言葉をいただいております、引き続き、公共施設美化サポーターが安心して活動できるよう取組を継続していく。
 - ・施策68では、昨年度和光市民大学の特別講座の一環として実施した「和光の自然と歴史～和光市自然環境マップとめぐる～」など、社会教育や環境団体と連携した取組を継続して行いたいと考えている。
- 委員からの意見
 - ・大宮のイオンで自然エネルギーや再生エネルギーの子ども向けイベントを頼まれて実施し、とても盛況だった。市役所や公民館でもそういう環境教育の講座をやればいいのか。
 - ・施策57で自転車駐車場の整備とあるが、和光市では自転車市役所といって自転車使用を推進する取組があったと思うが、まだやっているのか。
 - （事務局）やっている。市役所の近くへは庁内の共用自転車を使って現場に行くという取組だが、市の端の方に行くとは坂もあるため厳しいところはある。

- ・施策6-1に市役所での環境マネジメントシステムとあるが、どういうことをやっているのか。
- （事務局）これは和光市も一つの事業所として行っている市の事務事業における地球温暖化防止の取組のことだが、取組内容については、以前はISOで、今も外部の方に評価していただいている。
- ISOはお金もかかるしとても大変だと思う。だから返上したのか。
- （事務局）現在も紙の使用量や車の走行距離などを毎月集計する取組などを続けている。2～3年の若手職員を中心に実施している。
- ・施策6-6の環境に関するホームページの閲覧者数を増やすとあるが、32年度の目標に対してどれくらい閲覧されているのか。
- （事務局）申し訳ないが、現在データは把握していない。
- ホームページから環境マップをダウンロードできるらしいが？
- （事務局）秘書広報課でホームページを管理しているが、大きいカテゴリーの中での件数はわかるかと思うが、細かいダウンロード件数などは把握できないと思われる。その辺は確認しておく。

(2) その他

- ・本日いただいた評価や意見を踏まえて追加でご意見等がある場合は10月1日（月）までに事務局までご連絡いただきたい。
- ・次回の会議は、10月16日（火）午後3時から603会議室で開催する。